

2015年6月 組織部のページ

井手上 嵯峨山 則友(豊中) 天野 大西(泉州) 林 木村清(teruru) 砺波(ELF) 後藤や(泉州/ELF)
近藤(白峰) 仲本(MONTES) 浜田(げんごろう) 中島(OAR)～部員等 2015.5 現在 順不同敬称略～

みなさん、春山はいかがでしたか？われら組織部員は元気に登ってまいりました♪
さて、4/20に第2回部会を開きました。各会訪問の継続や、22期夏セミへの協力、
また50周年を記念した交流山行企画は？など、各会のみなさんのご協力を促しつつ、
運営していくことになっております。それでは、今月も暫しお付き合いくださいませ。

『府連放浪記♪』

イ. 4/23 2015春山連絡会(教育遭対部)

今年も活発な情報交換がなされました。

26会39パーティ189人(4/23現在)が、残雪残るアルプス方面はもとより、東北や関東の山々、大阪近郊の日帰り登山まで、4月理事会に引き続き、各会代表が持ち寄りしました。近年は、夏山・冬山入山情報交換も含め、各入山連絡会までにowafML(大阪労山メーリングリスト)で、その収集が始まり、大半の情報がこれにより寄せられております。即時に情報を入れられるので、owafMLの登録が未だの会員には、この機会に登録を勧め、協力を呼びかけました。

会の後半は、これも恒例になった気象情報の解説。中川教育遭対部長から、これまでの気象遭難事例の紹介や情報入手の方法を。また気象の専門家である河野副会長による春山気象講座が行われました。これら情報も先のowafMLでフォローされていくので、各会会員にはこれからもメール環境を調べていただくよう、お願いいたします。

(後藤や)

※5/16原稿編集時点で、大阪労山では遭難報告がありません。無事で何よりでした。

『突撃！府連の各クラブ』

～今月は3題。其の3・4は園理事長(そのさん)が2会の総会に突撃！です♪～

其の3 ハイキングクラブ teruru(テルル)(2008年創立 会長 林理恵子)

18名のメンバーが参加し、役員から2014年度の活動報告、2015年度の活動方針が提案され、討論が始まる。創立当時のメンバーが半数、それ以降に入会したメンバーが半数と言う現状のもと、どのような登山を志向する会にして行くのかという方針に、多くの会員から意見が活発に出されていた。皆さんの思いは“teruruという会”と“メンバーの雰囲気”が好きなんだなという事が感じられた。会議中に少し重苦しい雰囲気が漂って、暫しの休憩に入った時、ある会員が総会当日前後に誕生日だという事で、一斉にメンバーから「ハッピーバースデー」の大合唱が始まった。色々課題を抱えていても、この楽しい雰囲気があれば安泰だな、という思いを持って退席させて頂いた。

(園)

其の4 勤労者山岳会ひまやま（1967年創立 代表 服部 功）

訪問した時間には、総会も終わり 30 名位の会員が宴の真っ只中。平均年齢は見た目 70 歳前後か？。府連服部会長所属の会で、服部氏はもう真っ赤。鍋奉行はこういう時は大体男性会員、御多分に漏れず黙々と鍋に材料を入れていらっしやる。平均年齢は高そうだが、男女とも、お洒落をなさって気も心もお若い。笑い声、おしゃべりのトーンの高さに圧倒されました。いつまでもお元気で、怪我の無いよう山行を続けて楽しんで下さいね。（園）

※服部さんから伝言で、「鍋は作っただけでなく、旨かった。酒もようけ呑んだで！面白可笑しくやってるよ～」とのことです。

其の5 山の会カラクルン（2001年創立 会長 鈴木裕之）

総会のための総会（臨時）という、珍しいタイミングに突撃！総会時期を移行するための会則改定ほかで、府連事務所に集まられておりました。会名の『カラクルン』の由来は、ご存じの方も多いかとおもいますが、「アネハヅル」のことで、越冬のためにヒマラヤ 8000m を飛び越えるそうです。“カラクルン”と呼び合いながら、その仲間と一緒に逞しく自由に大空を翔るところにあやかっておられます。そして実際にそのとおりのメンバーで構成されておられ、ボクはかねてより「ハキダメにツル」やなあと、憚りながら賞賛いたしております。会員の方のなかには、お世話になった方も多く、当日は懐かしいお顔もありました。それから、肝心の移行する総会件ですが、初夏に南アルプス山麓に 1 泊で開催予定。一風呂浴びて、まさに爽快（総会）だそうです。（後藤や）



懐かしいお顔に再会できました！4/4 府連事務所



アネハヅル 同会 HP より

『組織部員ノリの統合初級体験ツイート☆』

- ・百丈河原でのあるテント泊の夜。いつも優しい M コーチ（雨男疑惑）に差し入れをいただく。コーチ「星が出ているよ。明日は晴れだなあ。」 ノリ「……」
翌日、早朝から雨。雨男確定！
- ・訓練終わりの日暮れの道場駅。最近では中級登山学校の方々も気さくに話してかけてくださる。某中級関係者「今から“やぐら”ですか？」 ノリ「……」
あのう、我々やぐらが住処ではないんですけど！